

2015年5月12日

2015年度 JBN 自動撮影カメラ貸出し事業のご案内

日本クマネットワークでは地球環境基金より助成を受け2011～2013年度にかけて「ツキノワグマおよびヒグマの分布域拡大の現況把握と軋轢抑止 および危機個体群回復のための支援事業」を実施しました。この調査・活動の中で、全国のクマ類の分布状況の把握に際して、43台の自動撮影カメラを購入しました（JBNクマ基金助成2012・JBNクマ保護管理推進委員会による購入分を含む）。これらのカメラの内、故障分を除く使用可能なカメラについて、2014年度よりJBN会員が計画・実施する保全および研究活動を対象に貸出し事業を行い、全国各地でご活用頂きました（成果はJBNニュースレターVol.15-3を参照）。2015年度も同様に貸出し事業を実施しますので、以下の要領を参照の上、希望される方は申請書に必要事項を記入してご応募ください。

対象とする活動

日本国内の各地域で行なわれるツキノワグマおよびヒグマに関する調査研究、教育・普及啓発ならびに保全・保護管理のための活動を対象とします。特に、自動撮影カメラ等の購入が困難な個人、グループ等による活動を歓迎いたします。

なお、営利活動や業務上の使用、政治活動を目的とするものは本事業に該当しません。

応募資格

申請者と事業代表者はJBN会員に限ります。但し、申請者と事業代表者は、当該年度までの会費を支払っているJBN会員に限られます。

貸出し条件

- ・貸出期間は2015年6月～2016年3月の間の必要期間とします。
- ・貸出し台数は1申請につき10台まで。電池・カード交換等のメンテナンスを含め、現実的に使用可能な台数を申請して下さい。但し、申請多数の場合は審査の上、台数を減らす場合があります。
- ・貸出し対象の自動撮影カメラは2種類あります。別紙「貸出しカメラの種類」を参照の上、それぞれの希望台数を申請書に記載してください。但し、申請多数の場合は希望に添えない場合があります。
- ・画像記録用のSDカード（2～16GB）はカメラ1台につき1枚まで貸出します。カードの容量は希望できません。
- ・撮影に必要な電池は、各自で準備して下さい。
- ・貸出・返却時の送料は借主負担とします。
- ・紛失・故障した場合には自己負担いただく場合があります。

採択数

年間数件とします。第1次募集でカメラに残部があった場合は第2次募集を行いません。

申請方法

別添の申請書に必要事項を記入して、2015年5月25日までに下記申請先まで郵送もしくはメールで提出して下さい。

採択の決定

以下のスケジュールに従って、審査が行なわれます。

- ・JBN メーリングリストにて貸出し事業について通知：5月12日
- ・応募締切り：5月25日（郵送の場合は必着、メールの場合は23:59まで）
- ・審査：5月26日～5月29日
- ・決定通知：5月30日

審査方法：JBN 代表・副代表および自動撮影カメラ貸出し事業担当者（後藤・山崎）によって審査し、採否と貸出し台数を決定します。

成果報告

成果のとりまとめが終了次第、JBN のニューズレターで報告をして下さい。但し、撮影された画像の著作権は申請者が有するものとします。

本事業について成果発表する際には、JBN の支援を受けた旨を記載して頂きます。

カメラの返却

活動が終了次第、速やかに返却して下さい。最終返却期限は2016年3月末とします。

設置に関する注意事項

森林、農地、私有地等への自動撮影カメラの設置は、入林許可・設置許可などの必要な許可を設置者の責任において取得したうえで実施して下さい。また、カメラの設置に際しては、個人のプライバシーを侵害しないよう十分注意して下さい。JBN は自動撮影カメラ機材の貸出しのみを行なうものであり、申請者が主導する活動においてカメラ設置によるトラブルが生じた場合の責任は一切負いません。

申請先

<郵送申請>

〒306-0622

茨城県坂東市大崎 700

ミュージアムパーク茨城県自然博物館

後藤優介

<メール申請>

go-chan@pb4.so-net.ne.jp

別紙：貸出しカメラの種類

① Aタイプ【Wildgame社製、W8X】

所有台数：18台

電池本数：単3電池4本×2（4本で作動し、8本入れると電池寿命が延長される）

記録画像：静止画及び動画（選択可能）

記録媒体：SDカード

撮影方式：昼間カラー撮影、夜間は赤外線照射による白黒撮影

特徴：センサーが動物を感知してから撮影が開始されるまでのタイムラグは短い（1～3秒程度）が、昼間の撮影は露出不良により白飛び映像となることが多く、撮影物が判別できない場合がある。集落付近や農地への出没など、主に夜間撮影を目的とした撮影向き。



② Bタイプ【Spypoint社製、HD7】

所有台数：15台

電池本数：単3電池3本×2（3本で作動し、6本入れると電池寿命が延長される）

記録画像：静止画及び動画（選択可能）、動画では音声録音可能

記録媒体：SDカード

撮影方式：昼間カラー撮影、夜間は赤外線照射による白黒撮影

特徴：昼夜間に撮影される映像の画質は良好であるが、センサーが動物を感知してから撮影が開始されるまでのタイムラグが長い（2～5秒程度）ため、通過する動物は移らない場合がある。

